

○北朝鮮とミャンマー

15 日からインドネシア、タイ、ミャンマーに出かけることになりました。気候変動をテーマに国連会議がバリ島で開かれていることを兼ねて、インターネットの活用で民主主義を発展させていこうという国会議員の国際会議に参加要請が来たので、行くことにしました。私の目的は、会議そのものよりも、この会議に参加してくるアセアン諸国やオーストラリア、ニュージーランドの国会議員とネットワークを作ることです。

私たちの世代で、アジアの最大の課題といえば、北朝鮮とミャンマー（ビルマ）です。北朝鮮では、韓国の議員たちと北朝鮮問題に関する国際議員連盟を4年前に立ち上げました。政府の拉致問題は大きな壁にぶち当たっていますが、日本だけでなく韓国も、そしてアメリカも政権交代が目の前にあるだけに、私たち野党間を中心にした多国間連携が大きな役割を果たし始めると自身を深めています。同じ思いで、今度は、ミャンマーへの取り組みを始めました。韓国の黄祐呂議員のようなパートナーをタイ、インドネシア、マレーシアなどで、見つけたいと思っています。帰りには、ミャンマーの軍事政権に抑圧され、タイに逃げ込んでいる少数民族のカレンやカチン族の難民キャンプを視察して、日本の役割を考えます。あまり、危なくない程度に、行ってきます。

○国会は本来の議論の場へ

国会は、あと一ヶ月の延長となりそうです。インド洋の給油をめぐる論戦ばかりが目につけていますが、国民の生活にかかわる身近な法案について、延長すれば、自民・民主の話し合いで成立していく法案が増えてきそうです。

汚染された血液製剤で肝炎に感染した患者の救済を、国の責任の中でやろうとする法案。地震による大規模災害に対して、国による個人補償のレベルを上

げて、生活再建にも使えるなど、額とともに現実の必要性に近づける法案。振り込め詐欺で銀行に残った金を被害者に戻すために、そのルールを定めた法案。さらに、政治資金規正法など、消えた年金問題に加えて、与野党の話し合いで結論を得た法律が成立してきます。

与党は、国会がねじれているから法案が何も通らないような宣伝をしていますが、これは間違っています。実際の国会では、法案は動いています。政府が出した法案だけを、野党の議論を無視して強行採決する与党のやり方が通じなくなった。さらに、民主党が提出した法案も、民主党の修正提案も、以前のように与党が無視することができなくなって、最後は、話し合いで決着することになるということ、私たちは、今、国会で実感し始めています。大連立がなくても、国会は、動く。これで、国民に国会の議論がよりはっきりと見えることになれば、参議院の与野党逆転は正解です。

○税金は効果的な使い方が大事

来年の税法改正に向けて、議論が活発になっています。将来はともかく、来年は消費税には手をつけないことは、与野党一致しているようです。道路の特定財源は、与党はガソリン税 50 円/ℓを維持する方向。民主党の議論は、道路に特定するのではなく、何にでも使える一般財源化は決定。それ意外はまだ煮詰まっていません。私は、ガソリンの税金を半分にして、使い方はすべて地方自治体レベルで優先順位を決める一括交付金に大改革。半分に減った分は、道路以外の租税特別措置をゼロベースで見直せば、これまで安易に無駄遣いしていた分、これも地方へ回せる財源が見つかると思っています。知事や市長さんなど、道路が大事だと、陳情に来てくれた地元の皆さんの顔が浮かんできます。